

平成26年8月19日
内閣府
原子力政策担当室

**アジア原子力協力フォーラム（FNCA）
「原子力発電のための基盤整備に向けた取組に関する検討パネル」
第6回会合開催について**

平成26年8月26日（火）～27日（水）、ベトナム・ハノイにて、アジア原子力協力フォーラム（FNCA）「原子力発電のための基盤整備に向けた取組に関する検討パネル」第6回会合を下記のとおり開催する。

今次会合では、TSO（技術支援機関）、中小型炉開発、緊急時対応・準備ステークホルダーインボルブメント等について議論し、東京電力福島第一原子力発電所の現況と今後の取組等について情報提供する予定。

記

1. 共催 内閣府、原子力委員会
ベトナム原子力研究所（VINATOM）
2. 開催日 平成26年8月26日（火）～27日（水）
3. 開催場所 ベトナム・ハノイ（モーベンピックホテル）
4. 参加予定国
バングラデシュ、中国、インドネシア、日本、カザフスタン、韓国、マレーシア、モンゴル、フィリピン、タイ、ベトナム

※我が国からは、阿部信泰原子力委員会委員長代理、町末男 FNCA 日本コーディネーター、関係省庁等が出席予定。また、IAEA 等から講演予定（テレビ会議による参加）。

以上

アジア原子力協力フォーラム (FNCA)
「原子力発電のための基盤整備に向けた取組に関する検討パネル」
第6回会合プログラム

日 付：平成26年8月26日（火）－27日（水）
場 所：ベトナム・ハノイ（モーベンピックホテル）
共 催：内閣府、原子力委員会
ベトナム原子力研究所（VINATOM）

平成26年8月26日（火）

プレスオープン部分（10：30～11：10）

セッション1：開会

- ・開会歓迎挨拶 トラン・チー・タン VINATOM 所長 共同議長
阿部信泰原子力委員長代理 共同議長
- ・参加者自己紹介
- ・アジェンダ採択

写真撮影

特別セッション1：ベトナムにおける原子力発電計画の概要

特別セッション2：東京電力福島第一原子力発電所の現況と今後

特別セッション3：エネルギー基本計画の概要

セッション2：TSO（技術支援機関）

セッション3：中小型炉開発

平成25年8月27日（水）

セッション4：緊急時対応・準備における地域協力

セッション5：ステークホルダーインボルブメント

セッション6：パネル会合の今後の計画

セッション7：今次パネル会合の総括等

セッション8：閉会

※現時点の内容であり、各国等との調整によりプログラムを変更することがある。

アジア原子力協力フォーラム (FNCA)
「原子力発電のための基盤整備に向けた取組に関する検討パネル」
第6回会合
出席者一覧

【海外出席者】

① バングラデシュ

- 1) Dr. Didarul Alam CHOWDHURY (ディダルル・アラム・チョードウリー)
バングラデシュ原子力委員会 (BAEC) 核安全・セキュリティ・保障措置部
部長
- 2) Mr. Mahmud HOSSAIN (マフムード・ホサイン)
バングラデシュ原子力委員会 (BAEC) 主任科学官

② 中国

- 1) Mr. LIU Hansi (リウ・ハンシ)
中国核能行業協会 (CNEA) プロジェクト担当官
- 2) Mr. Xu Bin (シュウ・ビン)
中国核動力研究設計院 (NPIC) ACP100 副主任設計士
- 3) Mr Li Song (リ・ソン)
中国核動力研究設計院 (NPIC) 上席技術官

③ インドネシア

- 1) Dr. Anhar R. ANTARIKSAWAN (アンハー・R・アンタリクサワン)
インドネシア原子力庁 (BATAN) 副長官
- 2) Dr. Syahrir (シャフリール)
インドネシア原子力庁 (BATAN) 放射線防護・環境部 部長

④ カザフスタン

- 1) Dr. Erlan G. BATYRBKOV (エルラン・G・バティルベコフ)
カザフスタン国立原子力研究所 (NNC) 総裁
- 2) Ms. Kristina Podshivalova (クリスティーナ・ポドシバロバ)
カザトムプロム PR部 部長

⑤ 韓国

- 1) Mr. BAE Kyoo Hwan (ベ・キュファン)
韓国原子力研究所 (KAERI) 主席研究員 (安全分析チームリーダー)
- 2) Dr. LEE Youngeal (イ・ヨンイル)
韓国原子力安全技術院 (KINS) 月城調査アシスタントプロジェクトマネージャー
- 3) Mr. KIM Jun Yung (キム・ジュニョン)
韓国原子力国際協力財団 (KONICOF) 研究員

⑥ マレーシア

- 1) Dr. Abdul Muin ABDUL RAHMAN (アブドゥル・ムイン・アブドゥル・ラフマン)
マレーシア原子力庁 上席研究員
- 2) Mr. Jamal Khaer Bin IBRAHIM (ジャマル・カエル・ビン・イブラヒム)
マレーシア原子力発電公社 (MNPC) 原子力開発計画 部長

⑦ モンゴル

- 1) Mr. Norov TEGSHBAYAR (ノロヴ・テグシュバヤル)
モンゴル原子力庁 (NEA) 長官
- 2) Mr. Chadraabal MAVAG (チャドラーバル・マヴァグ)
モンゴル原子力庁 (NEA) 原子力技術部 部長

⑧ フィリピン

- 1) Dr. Alumanda M. DELA ROSA (アルマンダ・M・デラ・ローサ)
フィリピン原子力研究所 (PNRI) 所長
- 2) Dr. Soledad S. Castañeda (ソレダッド・S・カスタンニエーダ)
フィリピン原子力研究所 (PNRI) 主任科学研究専門家

⑨ タイ

- 1) Dr. Somporn CHONGKUM (ソンポーン・チョンクム)
タイ原子力技術研究所 (TINT) 所長
- 2) Dr. Kanokrat TIYAPUN (カノクラット・ティヤプン)
タイ原子力技術研究所 (TINT) 上級原子力エンジニア

⑩ ベトナム

- 1) Mr. Tran Chi Thanh (トラン・チー・タン)
ベトナム原子力研究所 (VINATOM) 所長
- 2) Ms. DOAN Thi Thu Huong (ドアン・チー・スー・フォン)
ベトナム原子力研究所 (VINATOM) 国際部

⑪ IAEA 他

- 1) Dr. Mochammad Hadid SUBKI (モチャマド・ハディド・スブキ)

【国内出席者】

- ① 阿部 信泰 (会合議長)
原子力委員会委員長代理
- ② 町 末男 (FNCA 日本コーディネーター)
独立行政法人日本原子力研究開発機構 フェロー
- ③ 和田 智明 (FNCA 日本アドバイザー)
公益財団法人科学技術広報財団 理事

- ④ 松井 一秋
一般財団法人エネルギー総合工学研究所 研究顧問
- ⑤ 藤井 敏彦
経済産業省 資源エネルギー庁 国際資源エネルギー戦略統括調整官
- ⑥ 大久保 正紀
元独立行政法人原子力安全基盤機構 技術参与
- ⑦ Xing L Yan (ヤン・ジングロン)
日本原子力研究開発機構 原子力水素・熱利用研究センター
熱利用システム設計グループリーダー
- ⑧ 赤羽 恵一
独立行政法人放射線医学総合研究所 医療被ばく研究プロジェクト
医療被ばく研究推進室 室長
- ⑨ 菅原 慎悦
一般財団法人電力中央研究所 エネルギー技術評価領域 主任研究員

○上記は平成26年8月18日現在のものであり、今後変更されることがあります。

アジア原子力協力フォーラム (FNCA : Forum for Nuclear Cooperation in Asia) の概要

1. 概要及び目的

積極的な地域のパートナーシップを通して、原子力技術の平和的で安全な利用を進め、社会・経済的発展を促進することを目指す。

2. 参加国

オーストラリア、バングラデシュ、中国、インドネシア、日本、カザフスタン、韓国、マレーシア、モンゴル、フィリピン、タイ、ベトナムの全12か国（この他にIAEAがオブザーバー参加）

3. 経緯

原子力委員会が主催し開催してきた、近隣アジア諸国の原子力関係者が一堂に会し、情報交換及び地域協力のあり方を議論する場であった「アジア地域原子力協力国際会議」を発展的に改組し、平成11年4月に「アジア原子力協力フォーラム」が発足した。

（参考）「アジア地域原子力協力国際会議」は平成2年、アジア地域での放射線利用や研究炉での利用の推進に貢献するために、日本主導で設立された。平成10年、これまでの協力活動全体を総括し、内外との連絡・調整を行う「コーディネーター」と、その下で専門的見地から活動する「プロジェクトリーダー」を協力分野ごとに各国から選任し、より組織的な協力活動を進めることのできるFNCA新体制に移行した。

4. 枠組み

（1）大臣級会合

各国の原子力を所管する大臣級代表が出席して、原子力技術の平和利用に関する地域協力のための政策対話を行う。なお、大臣級会合を補佐するための上級行政官会合を付設。日本と参加国で交互に毎年1回開催。

（開催実績）

- 第1回大臣級会合：平成12年11月（タイ）大島科学技術庁長官出席
テーマ：「原子力利用の推進」、「原子力安全」、「地域原子力協力の推進」
- 第2回大臣級会合：平成13年11月（東京）尾身科学技術政策担当大臣出席
テーマ：「持続可能な発展と原子力」、「放射線利用分野における協力のあり方」
- 第3回大臣級会合：平成14年10月（韓国）細田科学技術政策担当大臣出席
テーマ：「人材養成戦略」、「持続可能発展と原子力」
- 第4回大臣級会合：平成15年12月（沖縄）茂木科学技術政策担当大臣出席
テーマ：「放射線・ラジオアイソトープ利用の社会・経済的効果の増大」
「持続可能な発展と原子力エネルギー」
- 第5回大臣級会合：平成16年12月（ベトナム）棚橋科学技術政策担当大臣出席
テーマ：「アジアにおける原子力人材育成に関する協力」、「FNCAの今後のあり方」

- 第6回大臣級会合：平成17年12月（東京）松田科学技術政策担当大臣出席
テーマ：「アジアにおける原子力人材育成に関する協力」、「科学技術と原子力」
- 第7回大臣級会合：平成18年11月（マレーシア）平沢内閣府副大臣出席
テーマ：「アジアの持続的発展における原子力エネルギーの役割」
「原子力エネルギーの広報」
- 第8回大臣級会合：平成19年12月（東京）岸田科学技術政策担当大臣出席
テーマ：「原子力エネルギーの平和利用への取組みとFNCA活動」
「放射線利用を中心としたFNCA活動」
- 第9回大臣級会合：平成20年11月（フィリピン）増原内閣府副大臣出席
テーマ：「原子力発電の基盤整備のための協力」
「放射線利用のさらなる促進のための協力」
- 第10回大臣級会合：平成21年12月（東京）菅科学技術政策担当大臣出席
テーマ：「原子力エネルギー利用促進のためのさらなる協力」
「放射線・アイソトープ応用促進のためのさらなる協力」
- 第11回大臣級会合：平成22年11月（中国）和田内閣府大臣政務官出席
テーマ：「原子力エネルギー利用促進のためのさらなる協力」
「放射線・アイソトープ応用促進のためのさらなる協力」
- 第12回大臣級会合：平成23年12月（東京）
細野内閣府特命担当大臣、中塚内閣府副大臣出席
テーマ：「基盤整備（人材養成と広報）」
「放射線・アイソトープ応用促進のための協力」
- 第13回大臣級会合：平成24年11月（インドネシア）
白眞勲内閣府副大臣出席
テーマ：「FNCAの役割」
- 第14回大臣級会合：平成25年12月（東京）
山本内閣府特命担当大臣出席
テーマ：「核セキュリティ文化・プロジェクト成果の活用」

（2）コーディネーターとコーディネーター会合

自国におけるFNCAプロジェクトの実施に責任を持つとともに、協力活動全体を総括して参加国相互の連絡調整を行う役割を持つコーディネーターが各国から1名選任されている。プロジェクトの実施状況を評価・レビューするとともに、全体計画を討議するため、コーディネーター会合を年1回日本で開催。日本のコーディネーターは町末男元原子力委員会委員。

（開催実績）

○第1回	コーディネーター会合	平成12年3月	東京
○第2回	コーディネーター会合	平成13年3月	東京
○第3回	コーディネーター会合	平成14年3月	東京
○第4回	コーディネーター会合	平成15年3月	沖縄
○第5回	コーディネーター会合	平成16年3月	東京
○第6回	コーディネーター会合	平成17年3月	東京
○第7回	コーディネーター会合	平成18年3月	東京
○第8回	コーディネーター会合	平成19年2月	東京

- 第 9 回 コーディネーター会合 平成 20 年 3 月 東京
- 第 10 回 コーディネーター会合 平成 21 年 3 月 東京
- 第 11 回 コーディネーター会合 平成 22 年 3 月 東京
- 第 12 回 コーディネーター会合 平成 23 年 3 月 福井（中止）
- 第 13 回 コーディネーター会合 平成 24 年 3 月 福井
- 第 14 回 コーディネーター会合 平成 25 年 3 月 東京
- 第 15 回 コーディネーター会合 平成 26 年 3 月 東京

（３）「検討パネル」

平成 16 年から平成 18 年の 3 か年間「アジアの持続的発展における原子力エネルギーの役割」検討パネル（第 1 フェーズ）を開催し、アジア地域における長期的な環境問題への対応やエネルギー資源の確保の面から原子力エネルギーの役割を評価した。

その結果を受け、第 2 フェーズとして平成 19 年から平成 20 年の 2 か年間「アジアの原子力発電分野における協力に関する検討パネル」を開催し、1) 原子力発電分野における人材養成、2) 原子力発電にかかわる安全確保のための基盤整備について議論を行なった。平成 20 年 11 月にマニラで開催された第 9 回 FNCA 大臣級会合では、第 3 フェーズとして平成 21 年から「原子力発電のための基盤整備に向けた取組に関する検討パネル」を開催することが決定された。

（開催実績）

■第 1 フェーズ

「アジアの持続的発展における原子力エネルギーの役割検討パネル」

- 第 1 回 パネル会合 平成 16 年 10 月 東京
- 第 2 回 パネル会合 平成 18 年 1 月 東京
- 第 3 回 パネル会合 平成 18 年 11 月 敦賀

■第 2 フェーズ

「アジアの原子力発電分野における協力に関する検討パネル」

- 第 1 回 パネル会合 平成 19 年 10 月 東京
- 第 2 回 パネル会合 平成 20 年 9 月 東京

■第 3 フェーズ

「原子力発電のための基盤整備に向けた取組に関する検討パネル」

- 第 1 回 パネル会合 平成 21 年 7 月 30 日、31 日 東京

議長：伊藤 隆彦 原子力委員会委員

- 第 2 回 パネル会合 平成 22 年 7 月 1 日、2 日 韓国

共同議長：尾本 彰 原子力委員会委員

Mr. SHIN Jae Sik（シン・ゼシク）韓国教育科学技術部（MEST）

原子力局 原子力協力課長

- 第 3 回 パネル会合 平成 23 年 7 月 5 日、6 日 インドネシア

共同議長：尾本 彰 原子力委員会委員

Dr. Taswanda TARYO（タスワンダ・タリヨ）

インドネシア原子力庁（BATAN）次官（研究開発研究成果利用・原子力科学技術広報担当）

○第4回 パネル会合 平成24年7月26日、27日 タイ

共同議長：尾本 彰 原子力委員会委員

Dr. Kurujit NAKORNTHAP (クルジット・ナコーンタップ)

タイ エネルギー省事務次官補

○第5回 パネル会合 平成25年8月22日、23日 東京

議長：尾本 彰 国立大学法人東京工業大学 特任教授

(4) 個別プロジェクトについての協力活動

FNCA は、放射線利用開発、研究炉利用開発、原子力安全強化、原子力基盤強化の分野で10のプロジェクトを展開している。プロジェクト毎に各国1名のプロジェクトリーダーが任命されている。各参加国のプロジェクトリーダーは、自国におけるプロジェクト活動を実施していく責任を有する。プロジェクト毎に、通常年1回のワークショップ等を開催し、それぞれの国の進捗状況と成果を発表・討議して、次期実施計画を策定する。

アジア原子力協力フォーラム(FNCA)の構成

